

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

宮崎県 宮崎県営国民宿舎 高千穂荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m <sup>2</sup> )	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	5,380	110	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
877	利用料金制	35.0
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
有	89.4	有

**グラフ凡例**

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

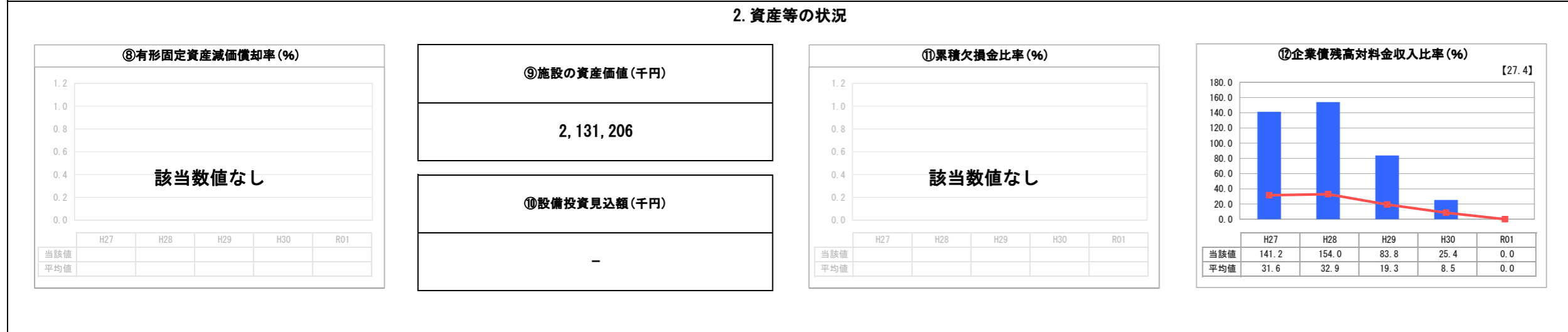


**分析欄**

**1. 収益等の状況について**  
**収益的収支比率**  
 H27年度以降、数値は改善傾向にあるが引き続き費用の削減や見直し等、経営改善に向けた取組が必要である。  
**他会計補助金比率**  
 1～2%台を推移しており、類似施設や全国平均値に比べて独立採算が保たれている。  
**宿泊者一人当たりの他会計補助金額**  
 類似施設平均値に比べて低い数値となっているが、引き続き客単価や他会計補助のあり方等を検討していく必要がある。  
**定員稼働率**  
 概ね横ばいの数値であるが、類似施設や全国平均を上回っている。  
**売上高人件費率**  
 類似施設の平均値とほぼ同規模の数値であるが、宿泊施設としてのサービス提供に支障が出ることのないよう、引き続き適正な人件費の支出が必要である。  
**売上高GOP比率**  
 類似施設や全国平均値を上回ってはいるが、H28年度以降の数値が減少傾向にあるため、経営改善に向けた取組が必要である。  
**EBITDA**  
 施設建設に係る償還金の支払利息を計上しているため、類似施設や全国平均値を上回っている。

**2. 資産等の状況について**  
**企業債残高対料金収入比率**  
 R01で企業債の償還は終了したところであるが必要な更新・投資を行うための財源確保に向けた検討が必要である。

**3. 利用の状況について**  
**施設と周辺地域の宿泊客数動向**  
 新規ホテルの開業など施設間の競争も激しくなっており、ニーズに応じたサービスの提供や情報発信等、宿泊客増加に繋がる取組を行って行く必要がある。



**全体総括**  
 収益等の状況を見ると、ある程度の独立採算が保たれている。観光地としての知名度が上がっていることや、インバウンド客が増加していることから、リピーターの確保に向けた取組や、施設の老朽化対策に充てる経費（投資）等を含めた経営改善への取組が必要な状況である。